

■ 2次元図面から3次元図面の作成方法や、その活用方法等を学びました。



「施工の省力化や簡易化、安全性向上を実現するために役立つICT技術活用ノウハウ」として、2次元図面から3次元データ図面の作成方法や、その活用方法などを習得しました。また、現場で使用するタブレット端末の使用方法や、現場における構造物の位置出し作業を実践しました。

- 1 日時 平成30年11月27日（火）
- 2 場所 建設ICT人材育成センター
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 対象者 岐阜県内の土木・建設関連会社の社員（現場代理人等）
- 4 参加者 28社 38名
- 5 内容

時 間	研 修 内 容	講 師
12:30～13:00	受付	
	「3次元設計研修 ～2Dから3Dへ～」	
13:00～13:45	3次元設計を取り巻く環境、他業界の動向と建設業	株式会社 建設システム 講師 鈴木 淳氏 （他 アシスタント3名）
13:45～15:30	2次元設計から3次元設計の図面作成体験	
15:30～15:45	（休憩）	
15:45～16:30	タブレット端末等に落とし込み、現場にて活用する実習	
16:30～17:00	ヒートマップ図による出来形管理の実習	
17:00	閉講	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 4ユニット（認定講習）

8 研修状況



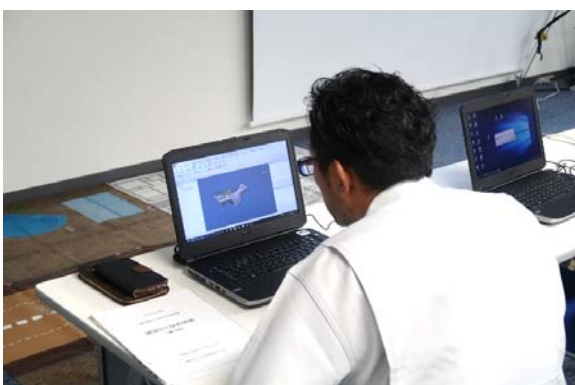
講師
株式会社 建設システム 鈴木 淳氏



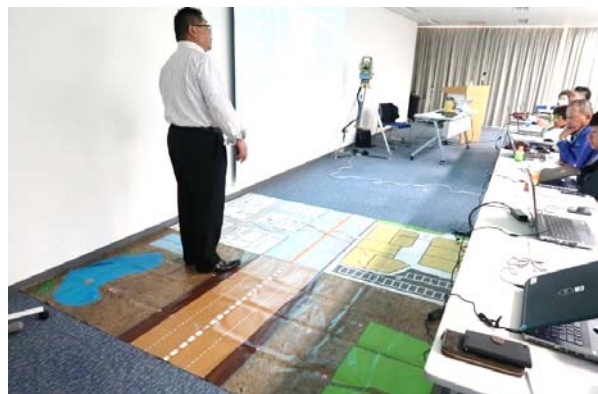
“ICT施工体制の実態”を講義により知り、ICT施工のメリット及びデメリットを把握しました。



講師アシスタント3名にも補助を頂きながら、2次元図面データ（平面図、縦断面図、横断面図、線形データ、座標データ）を使用し“3次元設計図面”の作成を行いました。



“3次元設計データ作成の実演”
実際の3次元データ作成ソフトを使用し、自身で3次元設計データを作成することができました。



“自動追尾のトータルステーション”の活用方法の講義受け、3次元設計データの活用方法を学びました。



タブレット端末を用いた構造物の位置出し、丁張、敷高の検測等に活用する手法を学び、“小規模工事にも活用する手法”を学びました。

9 受講者の感想

- ・ 3次元設計データ作成方法の流れが分かった。
- ・ 実際にPCを操作をしながらの説明で分かりやすく、よく理解することができた。
- ・ ICT施工により、工期短縮及び人件費削減に繋がる事が良く理解できた。
- ・ 3次元設計データの作成上のコツを知ることができた。
- ・ 実際に現場で使える内容が多く、理解できた（快測ナビでの3次元設計データの活用）。
- ・ 個々での体験が良い。ビデオやPowerPoint等だと実体験が出来ない為、今回の講義は非常に良かった。
- ・ 設計データの作成方法等分からない所はしっかり丁寧に説明して頂いてとても分かり易く講習できた。
- ・ 作業の効率が良くなることを理解することができ良かった（土量の出し方、出来高）。
- ・ また体験型の研修を受けたい。
- ・ 実際にパソコンを全員に使用させての講義が良かった。
- ・ 折角、作成した3Dがパソコンスペックの関係で表示できなかったのが残念であった。

以上